

地域及び医療ネットワークの問題解決型技術開発 (Virtual Global Networkの実用化に向けて)

黒枠で囲ったものは
すでに実証済み或いは
現在進行中のもの、
青枠は将来の発展系

1.目的 : 医療や地方における特有のネットワークに関する諸問題を解決する

2.内容・期待される成果

: 医療ネットワークや地域ネットワークにおける**諸問題解決** (安全・安心確保) をVGNの実用化により行い、IPv6の利用促進や次世代ネットワークの高度応用の基盤育成が期待され、**災害時**などにも役立つ可能性がある。

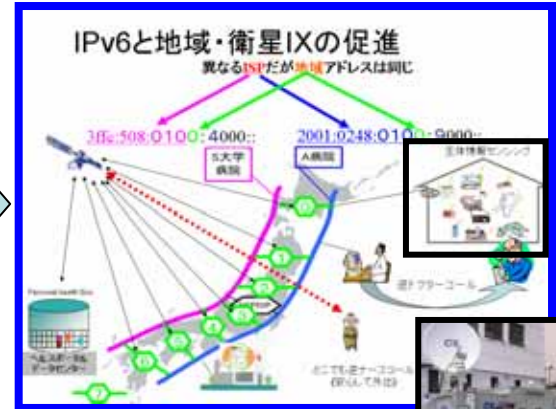
3.成果の社会的意義・社会への波及効果

: IPv6 Global Addressの優位性が立証されれば、IPv6によるP2Pやオーバーレイネットワークなどが加速され安全・安心・便利・安価な高度情報化社会が推進され、我々が提案している「**戦略的防衛医療構想**」実現へ向けての基盤構築へと発展すると期待される。



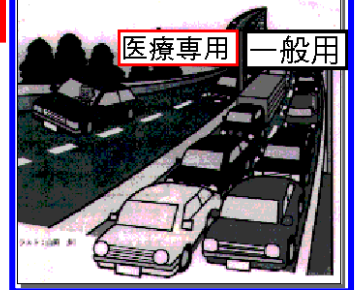
発展系

TCP-MH対応



医療系VGN応用イメージ

[Nikkei Medical 1997年6月臨時増刊号]
医療専用情報バイパス開発へ
より高速で安全な通信を目指す
インターネットの発展はともなっている。医療データを速く安全に送るためのセキュリティにも不安がある。そこで、医療系VGN専用情報バイパスを作り、高速で安全な通信を実現するための研究がスタートした。



NPO JAMINAと連携による
(日本医療情報ネットワーク協会)

- IPv6 Topological Addressing Policyによる (JPNIC Open Policy Meeting 2002にて発表)
- セキュアードシステム、冗長化、地域IX形成促進
- End To End Multihome (TCP-MultiHome オプション実現)による: 高品質・耐障害性確保

JGNI!!活用

(NPO) NORTH
アクセスポイント



より遅延を短く
よりパケットロスを少なく

災害時

SOCKより先は
マルチホーム
が有効

TCP-MH対応
SOCKS/Proxy

発展系

ロボット手術への応用
オリンパス (ダビンチ) より

IPv6によるオリンパス視野内顕微鏡
(脳外手術)実験済み

3DViewer

基礎医学から
臨床応用まで



TCP-MH非対応でも利用可能な システム